

北朝鮮のミサイル発射に断固抗議する声明

本年10月4日午前7時22分頃、北朝鮮内陸部から、1発の弾道ミサイルを東方向に発射し、青森県上空を通過して、日本の東約3,200キロメートルの我が国排他的経済水域（EEZ）外に落下したものと推定されている。

我が国をはじめとする国際社会が、北朝鮮に対し再三にわたり強くミサイル発射の自制を求めてきたにもかかわらず、幾度も発射を強行し、我が国を飛び越えて太平洋上に落下させたことは、我が国のみならず東アジア地域全体の平和と安定を損なう行為であり、許しがたい暴挙である。

今回のミサイル発射が、弾道ミサイル技術を使用したいかなる発射も行わないことを北朝鮮に義務付けた国連安全保障理事会決議や、日朝平壤宣言にも違反することは明らかである。

よって、ここに練馬区民を代表し、北朝鮮のミサイル発射に対して厳重に抗議するとともに、国連安全保障理事会決議に違反する行為を今後行わないよう強く求めることを表明する。

令和4年10月5日

練馬区長 前川 耀男